

16期6号 医療安全ニュース

今回のテーマ:大掃除×医療安全



12月といえば、一年の締めくくりとして大掃除を行うご家庭が多いのではないでしょうか。実は医療現場でも、整理整頓は「医療安全の基本」として位置づけられています。「物を探す時間が減る」「取り違えや誤認が防げる」「動線が整う」など、環境を整えることは、患者さんの安全にもスタッフの働きやすさにも繋がります。12月は改めて安全を見直す絶好のタイミングです。

大掃除が医療安全に繋がる理由

①インシデントの多くは「環境」が原因

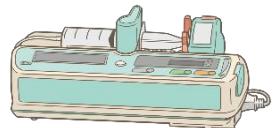
物品の散乱、類似物品の混在、動線の乱れは、確認漏れや誤投薬の原因となります。

大掃除で環境を整えることで、これらのリスクが大幅に減少します。

②定位置の徹底は、事故防止の最短ルート

大掃除は物品の定位置を見直すチャンスです

戻す場所が明確になると、取り違え・保管ミスが防げ安全性が高まります。



③機器の点検機会として最適

清掃時は自然と機器・コード・消耗品に目が行きます。

緩み・破損・期限切れなど、普段気づきにくいリスクを発見できます。

年末は「見落としに気づくチャンス」が最も多い時期

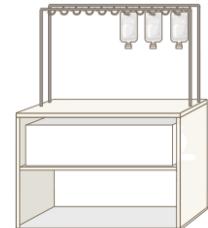
12月は業務が慌しくなる一方で、

レイアウトの変化

清掃による機器の移動

等が重なり、インシデントが置きやすい時期でもあります。

だからこそ、職場環境を見直すタイミングです。



大掃除で重点的に見直したいポイント

①類似物品の混在 ➡誤使用リスクの除去

②定位置が不明瞭 ➡物品探索時間の削減

③機器・コードの破損 ➡修理

④ラベルや棚札の古さ ➡最新状態への更新

⑤動線の乱れ ➡転倒・接触事故も防止



まとめ

大掃除は、単なる年末行事ではありません。医療現場の安全レベルを上げる年に一度のチャンスです。今年の大掃除は「安全をつくる大掃除」として、いつもより一歩踏み込んだ見直しをしましょう。安全が整った状態で、新年を迎えましょう。

今月の一言

定位置が揃うほど増す 安心感

この川柳はAIによって作成されたものです